

多言語読書活動推進事業

R4年度当初予算 300万円

目的

- ◆子どもの読書活動は、言葉を学び、新しい知識を得る等、社会に出るための基盤を形成するために重要なものであるため、府は平成15年度より子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書環境の整備を行っている。
- ◆近年、在留外国人が増加し、大阪府における日本語教育が必要な児童生徒数が増えていることなどから、日本語の読み書きが得意でない、母語の図書が身の回りにないなど、読書に触れる機会が充実していない児童生徒も増えている。
- ◆日本語能力の水準に関わりなく、すべての子どもに本を自由に読むことのできる環境を等しく提供することを目的に、本事業を実施する。

事業概要

【外国語絵本リーフレット】

- ◆外国語絵本リーフレットの作成
(韓国・朝鮮語、中国語、ベトナム語、フィリピン語、英語)
 - ・就学前の子ども用の外国語絵本を紹介したリーフレットを作成 (10,000部)
 - ・選書及び解説は、児童文学の専門家へ委託
 - ・リーフレットを作成し、市町村へ配付
- ◆外国語絵本リーフレットに掲載の絵本の購入 (1言語あたり 10～20冊)

【読み聞かせ・えほんのひろば イベント】

- ◆外国語絵本を用いた様々なイベントの実施
 - ・市町村と共催し、3カ所で開催
(利用に繋がるよう図書館見学を実施)
- ◆多言語でのえほんのひろばの開催
 - ・えほんのひろばセット用絵本を購入 (150冊)
 - ・市町村と共催し、2カ所で開催
 - ・読み聞かせと同時開催等組み合わせる

【フォーラム】

- ◆子どもの読書活動支援者を対象としたフォーラムを開催 (2月予定)
 - ・市町村立図書館における多言語の子ども読書活動推進事業の事例紹介
 - ・本事業で実施した内容を紹介し、府内で多言語の子ども読書活動を進める

期待される効果

- ◆外国にルーツを持つ子どもや保護者等に対して、日本語能力の水準に関わりなく、母語の絵本や日本語で出版されている絵本に触れる機会を提供することができる。
- ◆イベントを開催することにより、読書に興味関心を示し、自主的な読書活動へのきっかけとする。
- ◆フォーラムを通して、公立図書館や地域で活動する読書ボランティア等へ、多言語読書活動や好事例を発信し、外国にルーツを持つ子どもや保護者等に対する読書環境を整えることができる。